

●代表質問……………②

公明党(久山 佳世子)
大阪維新の会(中井 勝也)
共創みらい(鳥山 健)
日本共産党議員団(深江 容子)

●議会報告会の案内……………⑨

●委員会審査のあらまし……………⑩

●議決結果一覧……………⑫

●個人質問……………④

池永 裕樹(共創みらい)
小芝 英俊(ええまち狭山)
北村 栄司(日本共産党議員団)
花田 全史(共創みらい)
北 好雄(公明党)
中野 学(大阪維新の会)
西野 滋胤(大阪維新の会)
山本 尚生(政風クラブ)
山本 あさみ(公明党)

☆大阪狭山市 議会 だより

—編集・発行 議会広報委員会—



市民と議会の
わがまちトークを開催します
2026/5/23(土)

詳細は9ページをご覧ください

あまの街道岩室側「東屋」

議会だよりの表紙写真を募集中!

議会事務局 TEL360-4453(直通)
メール gikai@city.osakasayama.osaka.jp

◆ 一般質問（質疑内容は各議員が作成し、抽選により決定された質問順序のとおり掲載しました。）

代表質問

公明党
久山佳世子



令和8年度（2026年度）施政運営方針を受けて

問 ①「住み続けたいまち大阪狭山市」を掲げ続ける市長の礎となる大切にしている価値観や固く信じている考え方について。②「行かない市役所・書かない窓口」の施策について。③「職員一丸」をうたう市長の信念について。

答 ①私が信じている価値観の一つに、魅力があるところには人は集まる、裏返して言うと魅力のないところには人は集まらない。大阪狭山市にしかないもの、大阪狭山市だからあるもの。市内でもこの地域にしかないもの、この地域だからあるもの、それを魅力だと思っている。この価値観をもとに、これまでも生涯住み続けたいまち大阪狭山市、住み続けたいと思ってもらえるような魅力、そういう価値を市民の皆さんと一緒につくってきたのがこれまでの歩みで、それを固く信じている。②行かない市役所、書かない窓口の取組を本格化することは、効率的で持続可能な質の高い行政サービスの提供を実現し、市民の利便性の向上につながるもので、まちの将来を見据え、早急に着手すべき課題であると認識している。③市役所が魅力ある職場であるならば、そのまちも当然「魅力あるまち」につながっていく。職員が持てる能力を持続的に、そして最大限に発揮できるよう、「個」の成長を「組織」の成長へつなげ、組織全体の活性化を図ることで「魅力ある職場」を築き上げ、真に「職員一丸」となる市政運営を果たしていきたい。

安全で快適な自転車の利用と道路交通法の改正への対応を

問 ①本市における自転車事故の発生件数について。②道路交通法の改正内容の周知について。③自転車安全運転講習会の開催について。④自転車ヘルメット購入補助金について。⑤歩道における自転車・歩行者の表示について。

答 ①「大阪の交通白書令和6年版」では、本市の自転車事故件数は38件、うち負傷者が37人である。②黒山警察署員と本市職員が協力して寸劇を作成し、昨年産業まつり、交通安全講座や広報およびホームページで周知啓発を行った。③市内小学校の4年生、中学校の1年生、府立狭山高校の1年生を対象にした自転車安全講習会を実施する予定である。④まずはヘルメット着用の周知に重点を置き、本市に適した支援のあり方について検証していく。⑤劣化しているものから順次補修していく。



医療的ケア児の受入れ体制の充実を

答 入所基準や安全管理基準を明確化したガイドラインの策定や、民間保育施設等が看護師等を配置するための国や大阪府の補助制度を活用した費用助成などを検討する。医療機関や療育機関、教育・保育施設等との連携を強化し、民間園を含めた職員の技能向上に向けた研修の充実を図るなど、医療的ケア児とその家族が地域で安心して暮らせるよう、受入れ体制の構築に取り組んでいく。

代表質問

大阪維新の会
中井 勝也



令和8年度施政運営方針について

問 近畿大学病院跡地開発、金剛駅周辺再整備、今熊地区複合施設整備など大規模事業が同時進行するなか、事業全体の整合性や優先順位、工程管理や進捗の見える化、市民との共有のあり方、さらに子育て先進都市として将来世代への投資戦略と任期最終年度の総括について伺う。

答 第五次総合計画等との整合を図り、財政基盤や人口構造、波及効果を踏まえ全体最適で整理し、広報や説明会等で進捗の見える化と市民参画を推進する。子育て先進都市として教育の質の向上や体験機会の充実を図り、成長力向上につなげる。任期の成果については、令和6年度実施の市民アンケートで「非常に住みよい」と回答した割合が大幅に増えたことにも表れており、まちの礎をつくり上げ将来への責任を示す。

要望 大規模事業は市民と共創で進め、成果と課題を明確にし、将来世代へつなげていくことを要望する。

令和8年度当初予算について

問 基金繰入や義務的経費の増加、投資的経費の拡大が続くなか、財政の中長期的な運営方針を伺う。

答 過去最大規模の予算である。市税等は伸びを見込むが、社会保障費や人件費の増加により厳しい状況にあり、基金や健全化指標を踏まえ収支見通しを更新しながら中長期的視点で持続可能な財政運営を図る。

要望 大型事業推進にあたって将来負担を十分踏まえ、財政規律と成長投資の両立を図るよう要望する。

地域で子どもを育てる地域学校協働活動の推進について

問 中学校区単位での推進員配置の効果と課題、小中学校連携等の変化、今後の展開について問う。

答 中学校区単位での配置で小中学校連携が強化された。地域と学校が一体となった教育活動が進展し、学習効果の向上や高い満足度が確認されており、今後は人材発掘や事例共有を進めながら取組を強化する。

要望 地域と共に学ぶ本市ならではの教育モデルを、全国に誇れる形へと発展させていくことを要望する。

地域と学校がつくる 子どもの未来



児童虐待に対する取組について

問 児童虐待の現状と未然防止・早期発見・早期対応について問う。

答 相談件数は横ばいだが内容は複雑化しており、こども家庭センターの設置や相談体制の強化、訪問支援や啓発活動等により未然防止と対応強化に向けた取組を図る。

要望 地域全体で子どもを見守る体制を強化し、未然防止と早期対応をいっそう充実させることを要望する。

農業の跡継ぎ問題と農福連携、地産地消の推進について

答 高齢化により担い手不足は深刻であり、農地活用や制度活用を進めているほか、農福連携については関係機関と連携し検討を進める。地産地消については供給面の課題を踏まえ推進していく。

要望 農業、福祉、地域経済をつなぐ視点を持ち、本市の実情に合う農福連携と地産地消のモデル的取組を着実に推進することを要望する。

代表質問 共創みらい 鳥山 健



施政運営方針について

問 ①三者連携協定の締結予定である金剛駅周辺区域の再整備について。②1月に発足した「南大阪創生首長会議」の連携項目に都市計画道路大阪河内長野線の実現に向けた協議の提案を、国・大阪府への要望活動にしてはどうか。また、行基をテーマにため池文化で広域連携ができないか。③子育て・教育一貫の先進市に向けて、人づくりはまちづくりと考えるが、見解を伺う。

答 ①南海電気鉄道株式会社等が実施する事業に対して周辺整備を行う。また金剛駅西側の美化化やカラー舗装、分煙機能の強化に取り組む。②機会を有効に活用し要望したい。河内長野市との大阪河内長野線整備促進協議会においても、いっそう働きかけを強める。③教育委員会が進めるコミュニティ・スクールを「学校を核としたまちづくり」につなげたい。まちづくりの礎となる人づくりのため、教育に力を入れていく。



意見 ①金剛駅西口地区地区計画の一部未整備と駐輪場のあり方も含め検討を求める。②隣接市では、都市計画道路大阪河内長野線の一部区間が共用開始され交通の利便性が向上した。南大阪創生首長会議という機会をチャンスメイキングするのがトップの役目と考える。市長の熱意を求めたい。③子どもは校区・地域

にいる。地域にも安全安心・いきいきと育てる教育コミュニティが必要。地域と密接な市長部局でも、どのような計画や動きが必要か検討を。

本市教育の現在地と今後について

答 一貫した教育理念「学びあい、つながりあい、未来に輝く人づくり」のもと、子ども一人ひとりを大切にすることをベースに、グローバル人材の育成を掲げ、地域との関わりと英語教育の充実に注力してきた。特にコミュニティ・スクールの全市域展開によって、本市の教育環境はまち全体で子どもたちを育てる教育の形へと大きく転換を遂げた。また、施設分離型小中一貫校を導入するなか、9年間の「地域未来の学習」を教育課程として構築できたことは大きな成果であり、英語教育においても「使える英語」としての英語力の向上を実感している。今後については、部活動の地域展開、教職員の働き方改革、新学習指導要領への対応など多岐にわたるが、市民総がかりをキーワードに教育施策を推進していく。

意見 平成24年9月定例月議会で、本市独自の教育ビジョンの策定を求め、コミュニティ・スクールの事例を提示した。教育振興基本計画が策定され、各校推進員の活躍や新たな中学校区推進員と地域との連携も着実に進んでいる。卒業後も不登校生への進路フォローが行われていて安堵した。新学習指導要領でA1の活用が検討されていると聞く。取り組むべき課題は増えるが、期待をしている。

市制40周年市勢要覧の内製

答 令和9年10月1日に市制施行40周年迎える。デザインや編集等は業務委託を活用するが、可能な限り企画立案の段階から職員が主体的・横断的に関わって取り組む。

※誌面の都合上、「児童の権利に関する条約」は「こどもの権利条約」と適宜、表記しています。

代表質問
日本共産党議員団
深江 容子



憲法9条と非核三原則について

問 憲法9条（戦争放棄・戦力不保持）と、核兵器を「持たず、作らず、持ち込ませず」とする非核三原則は、平和・安全保障政策の基盤である。総選挙後、高市政権は、9条改憲と、核兵器を「持ち込ませず」の見直しを開始しようとしている。核兵器廃絶・平和都市宣言をしている本市の市長としての見解を伺う。

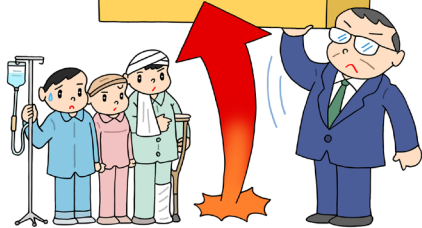
答 憲法改正には国民が納得できる過程が必要である。非核三原則を遵守する思いは変わっていないが、核の威力が高まるなかで、核について論議できない状況は好ましくない。

意見 世界情勢を見ても、核が抑止力にはなっていない。被爆国として、核兵器の恐ろしさを世界に発信し、憲法9条の堅持こそ必要である。

高額医療費負担増やOTC類似薬特別料金導入には反対

問 医療費削減のため、高額療養費の上限引き上げや、OTC類似薬に特別料金を導入しようとしている。患者団体からは、治療断念や生活破綻につながるとの声があがっている。患者負担増となる改悪部分の撤回を本市として国に要望するよう求める。

高額医療制度上限額



答 制度維持のため撤回は求めない。制度周知や配慮が必要な人への対応ができるよう動向を注視する。

意見 国民皆保険制度を維持するに

は、患者の負担を増やすという痛みを伴う改悪ではなく、国費の投入こそ必要である。軍備拡大よりも医療保険を含む社会保障への増額が必要である。

国の学校給食無償化に伴い、非喫食者に給食費相当額の支援を

問 不登校やフリースクールの利用等で学校給食を喫食しない場合は、給食費相当額を支給し、国からの支援が公平に行き届くよう要望する。

答 令和8年度から国の無償化が進められ、非喫食の取扱いは学校設置者の判断にゆだねるとされている。しかし、明確な基準や実施に関する規定が示されていない。大阪府や近隣自治体と情報交換を行い、円滑な対応ができるよう検討する。

子育て先進都市として、学校施設設備の改善を

問 安心して学校生活を送り、学習に集中できる環境を整えることは市としての責務である。更衣室の設置、照明のLED化、空調設備の改修、防犯カメラ設置等の要望がある。早急に適切な対応を求める。

答 個別の状況は把握しており、大規模改修の時期も踏まえて順次検討対応し、緊急的な修繕対応も行っている。令和8年度は学校ごとで計画的にLED化改修工事を進める。

金剛駅東側にトイレの設置を

問 金剛駅は本市の交通拠点である。駅周辺の利便性の向上やにぎわいづくりを考えるうえで、バリアフリー化やトイレの設置は重要である。駅西側のように、東側にも改札外のトイレの設置を求める。

答 本市と南海電気鉄道株式会社、富田林市の3者で、本年3月に連携協定を締結する。協定にもとづく取組を進めるなかで検討していく。

個人質問
池 永 裕 樹



第1期大阪狭山市子ども計画について

問 子育て先進都市として、第1期大阪狭山市子ども計画を策定するにあたって勘案される子ども大綱は、日本国憲法、子ども基本法、子どもの権利条約の精神に則ることがうたわれており、教育機会確保法にも言及されている。これらの法が、本計画を策定するうえでどのように勘案されるのか。

答 基本的人権の保障を基本理念として、いかなる差別も許されないこと、子どもの生命、生存及び発達に対する権利が守られること、子どもの最善の利益が第一に考慮されることなどを明確に位置づけたい。子どもの意見表明権や子育て当事者の声の反映、不登校児童生徒が増加し

個人質問
小 芝 英 俊



「教員の働き方改革」と休憩時間について

問 教員の45分の休憩時間は、確保できているか。

答 校長が午前11時から午後2時までの間に取るよう示しているが、十分には確保できていない。今後、休憩時間の確保に向けてこれまでと異なる時間の使い方なることを保護者や地域に周知し、取組を進める。



要望 労働基準法に定められた休憩

ている現状を踏まえ、学校以外の場の重要性や休養の必要性といった理念も十分に勘案する。



RPAの活用とその効果について

問 人がパソコン上で日常的に行っている定型業務を自動化する技術であるRPAは、その活用が着々と進められてきていると認識している。①RPAの推進に係る職員のシナリオ作成スキルの習熟について。②職員の業務量は削減されたのか。③定型業務量削減で生み出された時間は、非定型業務等の遂行に活用されているか。

時間も取れない現実、無理だと諦めさせられている教員の現状にこそ学校教育の課題が集約的に表れている。学級定数を大幅に減らし、正規の教員の数を抜本的に増やすことを求める。

介護保険料の引き上げを回避し、制度を維持するために

答 本市では、低所得者保険料軽減国庫負担金を活用し、保険料率の引き下げを行うとともに、介護給付費準備基金を全額取り崩して、保険料上昇の抑制に努めている。国による財政支援の強化が不可欠である。

要望 ばく大な軍事予算の増額ではなく、介護保険への国の財政支援を強く求める。

さやりんポイントを使いやすくする改善策について

答 さやりんポイントチャージ

答 現在27業務を対象にロボットを開発済みである。有効に稼働した場合は年間3,000時間以上の効率化が見込まれ、生まれた時間は個別の状況に応じ、市民に寄り添った対応に活用されていると認識している。職員の開発スキルについてはシナリオ作成トレーニングを再開し、さらなる事務効率化と市民サービスの向上に努める。

自転車運転者の交通マナーの向上について

答 既存の周知啓発活動に加え、黒山警察署をはじめ、民間事業者も含めあらゆる機会に連携し、啓発活動を行う。

要望 本市の車道外側線の整備を要望する。加えて、登校時の見守りにおける黒山警察署の協力要請や交通指導員の育成を検討してもらいたい。

キャンペーンの実施期間中、スマートフォンの操作やアプリの設定、事前チャージなどの支援窓口を設置する。高齢者にはさやりんポイントカードを進呈する予定である。利用できる店舗数も増やすよう努める。

意見 使いにくさを解消するための方策をさらに検討すべきである。

オンラインカジノと夢洲カジノについて

問 小学生も含めた若者へのオンラインカジノが広がっている。本市の対策を伺う。

答 今後も市のホームページや広報誌などを通じて、オンラインカジノが犯罪であることを周知徹底する。

要望 オンラインカジノが犯罪であることだけでなく、夢洲カジノの建設がギャンブル依存症の被害者の増大につながることから、市として強く反対することを求める。

議会を傍聴しませんか

5月開会議会

5月 7日(木) 議会運営委員会
14日(木) 本会議

6月定例会議会

5月 22日(金) 議会運営委員会
29日(金) 初日
6月 12日(金) 代表質問
15日(月) 個人質問
17日(水) 建設厚生常任委員会
総務文教常任委員会
22日(月) 予算決算常任委員会
25日(木) 最終日

上記の会議は、 YouTube で生中継しています。開始時刻は市議会ホームページまたは議会事務局までお問い合わせください。

なお、日程は変更になる場合があります。



■パソコン ■タブレット
■スマートフォンでご覧ください

▶▶▶ **大阪狭山市議会公式
YouTube チャンネルは
コチラ**



▶▶▶ **大阪狭山市議会
ホームページはコチラ**

大阪狭山市議会ホームページでは、会議録や定例会情報、議員名簿、その他議会からのお知らせなどを掲載しています。



個人質問

北村 栄司



さやりんポイントカードが利用できる店を増やして

問 山本、池之原、西池尻の地域ではサンディ、東野はセブンイレブンなどで使えるようにしてほしい。

答 事業者の理解が得られるよう積極的に取組を進める。

小中学校修学旅行費助成の創設を

問 昨年9月定例会議会で、保護者負担の軽減と児童生徒の健全な育成支援にと提案し「調査研究」するとの答弁であった。調査状況について。

答 現時点での助成は考えていないが、行事の精選等負担の軽減について、引き続き各校を指導する。

安全な道路整備で快適な住環境を

問 ①今熊三丁目634番地の住

宅内道路。②池之原の旧高野街道。③山本東3番地に入る急な階段への手すり設置。④西池尻4号線の水道管工事後の未舗装道路に対し、地域住民から早期の対応要望がある。

答 5年に一度調査して計画を作成し、優先順位をつけて補修している。必要に応じて対応する。



補聴器購入費補助制度の拡充を

問 昨年9月定例会議会で補聴器購入助成制度における市民税非課税世帯の要件撤廃を求める要望書が、趣旨採択された。趣旨に沿った対応

関係部局と連携し、調査研究を進める。

要望 大阪府の計画を待つだけでなく、本市として取り組める部分から早期に見直しを進めるべきと考える。また、居場所は「各避難所に必ず1箇所設けること」が基本であり、平時から専門人材の把握や講習など体制整備が不可欠である。全庁横断で居場所づくりを推進し、誰一人取り残さない避難所運営を求める。

子ども目線の交通安全点検について

問 通学路の危険箇所は大人では気づきにくい点がある。子ども自身が危険を発見し主体的に学ぶ「子ども目線の交通安全点検」を実施すべきではないか。

答 交通安全教室や校区探検で危険箇所を確認しているが、大人主導の学びが中心で、主体的な理解には至っていない面もある。既存の指導

がされていると思うが、見解を伺う。

答 先進事例および新たな事例を調査し、趣旨採択された要望書やアンケート調査の結果なども踏まえ、助成対象の拡大について検討する。

市長の施政運営方針について

問 毎年3月定例会議会で発表される市長の施政運営方針で毎回表現されていた「生涯住み続けたいまち大阪狭山市」をめざすという内容が今回はなくなっている。昨年参加した南河内基礎自治機能充実強化協議会の事業目的に、市町村合併の調査及び研究を行うとしているため、市長の考え方に変化が生まれているのではと危惧する。市長の見解を求める。

答 「生涯住み続けたいまち大阪狭山市」は、市長就任以来、掲げ続けている理念で揺るがないものである。引き続き実現をめざし邁進する。

や学習活動と関連づけながら、より主体的な交通安全指導につながるよう指導助言する。

意見 見守り活動では、信号を見えない、斜め横断、飛び出しなど危険行動が見られる。子ども自身が気づいた危険は「最も実感を伴う学び」であり、教育の場で扱うことで行動変容につながる。子ども主体の交通安全点検を教育プログラムに位置づけ、改善につなげるべきと考える。



その他、市職員の積極的な採用について質問しました。

個人質問

花田 全史



地域防災計画と避難所運営体制の見直しについて

問 国の防災基本計画が改定され、避難所での「子ども・若者の居場所確保」が明記された。本市の①地域防災計画の改定方針とスケジュール。②避難所運営マニュアルでの位置づけ。③平時からの準備と体制整備について伺う。

答 ①大阪府が令和8年度中に被害想定を公表予定であり、その後の計画修正に合わせて本市計画も見直す。②大阪府の指針改定後、こども家庭庁の手引きを踏まえ、安全・安心な場、遊び場、学習の場の提供、相談支援などを具体的に盛り込む。③災害時に子ども・若者の居場所を確保するには、日頃からの地域で顔の見える関係づくりが重要である。

個人質問 北 好雄



市役所駐車場の利用料金について

問 今まで無料であった市役所駐車場の利用料金が、本年4月から有料となった。

利用料金は、手続き等で市役所を利用した方は減免の対象となり、利用時間にかかわらず無料となる。しかし、市役所を利用しない場合は、減免の対象とならず、1時間を超えると300円が徴収され、以降は時間に応じて加算されることになっている。

①1時間を超過した場合の利用料金を100円から200円程度までにできないか。②市役所駐車場を利用する場合、利用料金の支払いは駐車区画番号を使用している。これを、車の登録番号を入力する方法に変更できないか。③公民館等は、現在使用している駐車場は無料である。今

熊地区周辺エリア複合施設整備事業で公民館等を新たなものにしたとき、市役所と同じような料金設定にしようと考えているのか。本市の見解を伺う。

答 ①民間貸駐車場の営業を圧迫することなく、そのバランスも考慮する必要がある。値下げは難しい。②車番認証システムを導入するためには、別々の出入口を設置する必要がある。③施設完成後の運営状況や利用実態、有効活用と受益者負担の観点も考慮し、最も効果的かつ効率的な運営を実施していきたい。

さやりんバスの始発時間について

問 近畿大学病院では午前9時の診療前に検査等があり、午前8時半前に到着しなければならない。さやりんバスの急便の始発時間を1時間程度早めることはできないか。

答 近畿大学病院の最寄りとなる

泉ヶ丘駅へは、既存の路線バスが運行している。コミュニティバスは、路線バスと競合させることなく、路線バスを補完する形で運行するという目的があることから、通勤時間帯の運行は困難であるとバス事業者から回答があった。さやりんバス急便は、市民の利便性の向上と必要性、重要性を粘り強く訴え協議を重ねた結果、本市の意向を尊重する形で現在のルート及び時間帯で合意形成を図り、昨年11月から運行を開始した。今後もさらなる利便性の向上を図っていく。



広い活用方法の検討を求める。

デジタルスタンプラリーについて

問 本市に観光や散策、食事に来ていただく施策としてイベント等を開催してはどうか。

答 観光客の満足度向上をめざすとともに、南河内地域等との広域的な連携を進めることで、さらなる誘客効果を期待し、多くの方々に訪れていただけるよう積極的に取り組む。

要望 参加者自身が市内の店舗や歴史、自然などの新しい発見を楽しみ、関心を持ってもらえるよう、南河内地域が相互に協力し合い、取組を進めていただくよう要望する。

グラウンド人工芝生化事業について

問 国の助成金活用や、支援を募るクラウドファンディングを取り入れてはどうか。

答 今後、施設の整備や大規模改

修を検討するにあたり、限られた財源を有効に活用し、クラウドファンディングなど新たな財源確保の手法も調査研究しながら、スポーツ環境の充実に向けて計画的に取り組む。

要望 財源確保において、指定管理者の設備投資や料金改定ができるよう、条例改正も考えていただくことを要望する。

公の施設の指定管理者制度の条件変更について

問 契約を長期化することで、設備投資による施設維持や改善などが期待できるのではないかと。

答 施設の魅力向上や施設維持、改善等が効果的・効率的に図れるよう、施設所管部局とも連携し、引き続き調査研究する。

要望 必要に応じて、施設利用料金の上限引き上げなどを改正するよう求める。

個人質問 中野 学



市民団体によるさやりんポイントの活用について

問 さやりんおでかけサポートの利用者の支払いや運転ボランティアへの活動謝礼、自治体が行う清掃活動や訓練などのボランティア参加者にポイントを付与してはどうか。



答 具体的な付与方法や、それに伴う庁内事務手続の見直しについて検討を進めている。

要望 他自治体での取組も参考に幅

個人質問 西野 滋胤



東放課後児童会の待機児童の現状と今後の展望について

答 申込増加により定員を超過し待機児童が発生する見込みであったが1クラス増設で低学年と多くの4年生は解消した。しかし、高学年は一部待機が残るため、夏休みは臨時教室で対応する。今後は空き教室活用や民間参入を促し受皿の拡充を図る。



要望 迅速な受入れ対応と情報発信の強化を求める。将来的に人口増加

が見込まれる第七小学校区では、保育施設の誘致と児童会併設などの計画的な受皿の確保を要望する。

府道河内長野美原線の東池尻地区の歩道整備及び東野交差点の渋滞緩和対策の進捗と今後の展望について

答 測量や物件調査を進めており、詳細設計も実施した。今後は用地取得に向け、大阪府と連携し取り組む。

要望 歩行者の安全確保と渋滞解消は重要であり、今後見込まれる人口増加も踏まえ、早期実現に向けて積極的な取組を要望する。

本市のシティプロモーションの向上について

問 本市は大型プロジェクトが控えており、今後10年で大きく成長する。まちの変化を活用した魅力発信とブランド力の向上について問う。

答 再開発やまちの変化をコンテ

ンツとして発信し、ブランド力の向上と観光集客の促進を図る。

要望 事業の進捗を定点観測し、地図や写真で可視化する「未来予想図」的な発信を提案する。継続的な記録と効果的な情報発信を求める。

本市の行政DXの推進について

問 ①ガバメントクラウド移行の進捗について。②DX推進とフロントヤード改革の現状と今後について。

答 ①すでに新基幹システムが稼働している。②AI活用やオンライン申請等で、書かない窓口の実現を推進しており、今後も市民サービスの向上と業務の効率化を図る。

要望 新基幹システムのセキュリティ対策の徹底と適切な運用、デジタル人材の育成を要望する。また、オンライン申請の利便性向上や他自治体の事例を踏まえたフロントヤード（窓口）改革の推進を要望する。

個人質問 山本 尚生



本市の今後の財政運営について

問 財政の持続性が重要視されるなか、大規模な普通建設事業に着手予定である。今後の財政運営について見解を伺う。

答 財政運営については、令和7年度決算や令和8年度予算の執行状況を踏まえ、行財政運営戦略大綱の理念に則り、持続可能な財政運営に取り組んでいく。

全国体力テストについて

問 スポーツ庁が昨年12月に実施した令和7年度全国体力テストの結果が公表された。本市の状況と対応について伺う。

答 小学5年生と中学2年生が参加した。結果は、中学男子のシャトルランに課題はあるが、概ね全

国水準である。一方、スクリーンタイムは、小学校は全国平均を下回っているが、中学校は全国や大阪府平均を上回っている。情報モラルに関する課題については、保護者の理解や協力が必要であることから、青少年指導員やPTAとの連携を進めていく。

こども誰でも通園制度について

問 来年度から保護者の就労状況に関係なく利用できる。本市の状況と対応等について伺う。

答 こども誰でも通園制度は、未就園児家庭の孤立感の解消や育児負担の軽減を図る目的で、本年4月から東野幼稚園で、公設公営で実施する。また、令和9年度から療育支援事業を実施する。あそびの広場や利用者支援事業など、地域子育て支援拠点の4機能を有する本市の子育て支援拠点の一つと

して位置づけていく。

災害に強いまちづくりについて

問 熱中症対策や、断水時の衛生環境の確保、停電時の避難所の機能維持は喫緊の課題である。本市の取組を伺う。

答 防災フェスタを開催し、市民の災害意識の高揚や知識の向上に努めている。夏場はスポットクーラーを稼働できるよう、分電盤を整備する予定である。また、断水時等に活用できる水循環型シャワー設備の整備を行う。



個人質問
山本 あさみ



一人ひとりの子どもが輝くまちについて

問 ①こども家庭センター設置から現在までの相談件数と相談内容について。②アウトリーチでの寄り添いなど対応について

答 ①令和5年度397件、令和6年度544件、令和7年度は、令和8年1月末時点で608件。相談内容は、養護相談が全体の約67%、育成相談が約25%、その他障がい、保健相談が続く。②社会福祉士等の有資格の相談員を増員し、子育て世帯訪問支援事業や、養育支援訪問事業など、アウトリーチ型による支援も行っている。

要望 ①相談しやすい対策として、例えば駅やコンビニ、公共施設などに、こども家庭センターのQRコー

ドと電話番号を掲示し、読み取るとダイレクトに相談できるような仕組みづくりや、さやまっ子ナビのアプリからもダイレクトにつなげるよう要望する。②アウトリーチと重層的な支援ネットワークを活用した多面的なアプローチを要望する。

部活動の地域移行について

問 ①実証事業の中から見えてきた課題。②今後の取組について。

答 ①委託先からは指導者の安定的な確保、保護者からは放課後における生徒の学校間の移動、学校からは休日における鍵の受け渡しなどが課題としてあげられている。②実証事業を通じて課題解消に向けた検討を進めるとともに、地域展開後の本市独自の活動（さやまプラス）で地域団体等が主体となる活動に子どもたちが校区を越えて参加できる体制づくりを進める。

要望 子どもたちが安心して移動できるよう中学生のさやりんバス運賃を無料化するなど、子どもたちの移動手段や運営のための人員確保等の予算化も含め、本市の未来への投資を強く要望する。



庁内におけるハラスメントについて

要望 ハラスメントは、年齢、立場、性別、雇用形態等、それぞれの立場で起こる可能性がある。今後もハラスメントのない生き生きと働き続けることができる職場環境の構築に努めるよう要望する。

議会報告会

市民と議会の
わがまちトーク を開催します！

日時
場所

令和8年5月23日(土) 午後2時から午後4時まで
市役所3階 第1・第2会議室

◆第1部 議会報告会

主な内容…令和8年度予算、近畿大学病院等移転跡地と今熊地区周辺エリア複合施設の進捗状況など

◆第2部 市民との意見交換会

テーマ「大阪狭山市のここが好き♡」

大阪狭山市議会では、市民に開かれた議会をめざし、議会報告会や市民との意見交換会を定期的で開催しています。今回は第1部に令和8年度の各会計の予算を中心に、3月定例月議会の審議内容および議決結果や、近畿大学病院等移転跡地や今熊地区周辺エリア複合施設などの進捗について報告し、第2部の市民との意見交換会では、市民の皆様と議員とがテーマ「大阪狭山市のここが好き♡」に沿って意見交換を行います。

議会報告会、市民との意見交換会に多くの市民の皆様のご参加をお待ちしています。

委員会審査のあらまし

議案は各委員会に付託され、審査されました。
主な内容は次のとおりです。

議会運営委員会

可決 議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正

討論 反対 本市の財政は厳しく、今後も多額の支出が見込まれるなか、たとえ少額でも期末手当の引き上げは容認できない。物価高で市民生活は厳しく、市民の理解を得ず引き上げることは、議会への信頼を損なう恐れがある。また、人事院勧告はあくまで参考であり、議員報酬と連動させるものではなく、議員自ら判断すべきであり、反対。

賛成 議員報酬は公務員の給与とは性質が異なるものの、多くの市議会が人事院勧告に準じて期末手当の支給月数を見直しており、恣意的な引き上げを防ぐ観点からも、これに基づき上げ下げを行うことが適切である。約40万円の増加の影響は限定的であり、長年の凍結解除により市民の理解も得られると考え、賛成。

否決 議員の定数に関する条例の一部改正

不採択 議員定数削減の陳情

討論 反対 / 不採択 住民の多様な意見が届きにくくなり民主主義の質の低下の恐れ、チェック機能の弱体化及び形骸化、さらに民主主義のコストを削減するデメリットが大きく、定数削減には反対及び不採択。

賛成 / 採択 定数見直しは議会の質や機能向上の契機となる。厳しい財政状況のなか、議会自らが改革姿勢を

示す意義は大きい。同規模自治体の例からも12名体制で機能維持は可能であり、地域の声に議員の努力で対応すべきと考え、賛成及び採択。

建設厚生常任委員会

可決 国民健康保険条例の一部改正

討論 反対 子ども・子育て支援金の導入は、物価高に苦しむ市民にさらなる負担を強いるものであり、特に年金生活者や非正規労働者にとって、少額でも大きな負担となる。また、現役世代から財源を求める手法は、子育てをより困難にするものである。子ども・子育て支援は国の責任で行うべきであり、反対。

賛成 子ども・子育て支援金制度は、全世代で負担を分かち合い、社会全体で子育てを支えるものである。低所得世帯への軽減や子育て世帯への配慮も盛り込まれており、国の制度改正にもとづき、法令に従い適切に対応することは当然の責務であり、賛成。

不採択 狭山池周回道路「一部通行止め」開放の要望

討論 不採択 狭山池の当該箇所は大阪府が主体となり、地域住民との合意に基づき閉鎖されている。今後、技術や社会環境の変化を踏まえ、大阪府主導で、住民のプライバシーに配慮しつつ新たな解決策を提示できれば進展も考えられるが、直ちに解決できる問題とは言い難く、不採択。

採択 課題の難しさは理解するが、道路を平坦に一周したいという要望は以前から多く、木製橋を通ることの課題も指摘されてきた。これを契機に、大阪府と地域住民との経緯や確認事項を整理し、対話を再開しながら課題解決に向けて一歩ずつ前進させるべきであり、採択。

不採択 近畿大学行き(急行バス)の時刻表改定の要望

討論 不採択 バス事業者との協議の結果、さやりんバスは既存路線との競合回避や運転手不足から、通勤時間帯の運行は困難とされている。市民からの要望は理解しているが、今後、事業者と連携し、さらなる利便性の向上に努めるよう求め、不採択。

採択 金剛駅まで来ることが難しい住民にとっては、さやりんバスの時間繰上げは大きな利便性向上となる。直ちに実現は難しくても、こうした要望を踏まえ、事業者と調整を進めていくことが必要であり、採択。

総務文教常任委員会

可決 未来に輝く教育のまち条例

問 この条例は、こども基本法の理念を踏まえて策定されたものか。

答 こどもの権利条約の4つの原則を踏まえているこども基本法の理念も包含されている。

問 こどもの権利条約の「差別の禁止」は重要な原則であるが、本条例では、はっきり見えにくい。いじめ・差別・虐待の現状や、子どものアンケート結果からも、差別の禁止について明文化すべきではないか。

答 逐条解説で補足・充実する。

問 アンケートやパブリックコメントで、教育の独立性や中立性の確保について懸念する意見がある。教育は不当な支配に服することなく行われるべきとされているが、見解を伺う。

答 この条例は具体的な施策を定めるものではなく、本市の教育の方向性を示す理念条例である。最大の目的は、社会全体・地域全体で子どもの成長を支えることであり、そのための推進体制の構築にある。政治の中立性や教育への政治的介入について意図するものではなく、これら

は教育基本法や地方教育行政の組織及び運営に関する法律などの上位法により適切に規定されているとの認識である。

予算 決算 常任委員会

可決 令和8年度(2026年度) 一般会計予算

討論 反対 財政運営が堅実に行われていることや職員の努力は一定理解するが、国民健康保険や介護保険、後期高齢者医療制度において、市民負担が増大している現状は看過できない。本来は国や大阪府が責任を持って公費投入を行うべきであり反対。

反対 国は大企業優先や軍事費拡大を進め、大阪府もカジノ建設や知事選挙など多額の公費を投入している。本市の努力は理解するが、社会保障や住民福祉の面で十分とは言えず、国・大阪府に対し補助の拡大を求め、反対。

賛成 大規模プロジェクトや物価高騰対策など、市民生活を支える重要な予算となっている。一方で、社会保障費の増加や物価高の影響により、今後も厳しい財政運営が見込まれる。多様化・複雑化する市民ニーズに的確に対応し、まちの成長と発展を見据えた未来への投資を進め、持続可能な財政運営に努めることを求め、賛成。

可決 令和8年度(2026年度) 国民健康保険特別会計(事業勘定) 予算

討論 反対 特定健診の受診向上への取組や健康増進事業は評価するが、国庫負担の抑制や保険料の府内統一化により被保険者の負担は大きい。また、OTC類似薬や高額療養費制度の見直しなど、新たな自己負担が生じており、制度そのものに課題がある。構造的な見直しが必要であり、反対。

反対 国民健康保険加入者は自営業者や非正規労働者などが多く、物価高の影響を強く受け、所得の2割を超える保険料の負担は極めて重い。国や大阪府による財政支援の拡充が不可欠であると考え、反対。

賛成 被保険者が減少するなか、国民健康保険制度の事業運営において必要不可欠な予算である。また、被保険者の健康増進、生活習慣病の早期予防に積極的に取り組まれている。今後も安定的で持続可能な制度運営と、国に対しさらなる財政支援の働きかけを求めて、賛成。

可決 令和8年度(2026年度) 介護保険特別会計(事業勘定) 予算

討論 反対 自己負担の増加やケアプランの有料化など改悪が検討されている。介護事業所の経営状態も厳しい。国に財政支援を強く求め、反対。

反対 今後も保険料や自己負担の増加が見込まれ、介護を必要とする高齢者や家族の生活は、既に限界に近い。サービス利用の断念が懸念され、心身の悪化や医療費の増加にもつながりかねない。根本的な問題は国にあり、

抗議の意を含め、反対。

賛成 高齢化の進展に伴う介護保険費用の増加が見込まれるなか、介護保険給付や地域支援事業に係る経費、予防事業や認知症事業関連経費などが適正に計上されている。高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる体制づくりへの取組を求め、賛成。

可決 令和8年度(2026年度) 後期高齢者医療特別会計 予算

討論 反対 制度創設以降、窓口負担の引き上げなど高齢者の負担が増加している。外来医療費の負担増に対する配慮措置が終了し、通院の多い高齢者の窓口負担は確実に増える。国による財政支援の強化を強く求め、反対。

反対 2026年度の保険料は、医療費の増大に伴う保険料の改定、子ども・子育て支援金の導入に伴う上乘せや、賦課限度額の引き上げにより被保険者の負担増が見込まれる。高齢者が増えるほど保険料が上昇する仕組みには課題がある。市長会等を通じた財政支援の要望にもかかわらず、国の対応は十分とは言えず、抗議の意を含め反対。

賛成 制度運営に必要な経費や広域連合への納付金等が適切に計上されており、妥当な内容である。また、保険料も軽減措置が講じられており、市長会を通じた国への公費負担の増額要望など、本市における負担軽減に向けた取組も評価できる。今後も、被保険者の負担軽減に向けた国への働きかけを求め、賛成。

4月7日	26日	23日	19日	18日	16日	13日	11日	10日	3月9日	26日	19日	16日	2月5日	28日	22日	1月20日											
広報委員会	本会議(最終日)	議会運営委員会	広報委員会	予算決算常任委員会	予算決算常任委員会	総務文教常任委員会	建設厚生常任委員会	本会議(個人質問)	本会議(代表質問)	全員協議会	議会運営委員会	幹事長会議	議会運営委員会	(3月定例会月議会) 本会議(初日)	全員協議会	議会運営委員会	総務文教常任委員会	建設厚生常任委員会	広報委員会	幹事長会議	中部市議会議長会研修	予算決算常任委員会	1月緊急議会	全員協議会	議会運営委員会	議会改革特別委員会	幹事長会議

議会日誌

3月定例会で審議された案件と議決結果

議案名	議員名	えち狭山	大阪維新の会			共創みらい			公明党			政風クラブ	日共産議員	本党団	議決結果	
		小芝英俊	中井勝也	中野学	西野滋胤	池永裕樹	鳥山健	花田全史	松井康祐	北好雄	久山佳世子	山本あさみ	山本尚生	北村栄司		深江容子
提議 出員	議員の定数に関する条例の一部改正	×	○	○	○	×	×	×		×	×	×	◆	×	×	否決
	議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正	○	×	×	×	○	○	○		○	○	○	◆	○	○	可決
条例	犯罪被害者等支援条例／消防団員等公務災害補償条例の一部改正／一般職の職員の給与に関する条例の一部改正／行政手続条例の一部改正／市税条例の一部改正／介護保険条例の一部改正／行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正／印鑑条例の一部改正／子ども・子育て協議会条例の一部改正／市立幼稚園設置に関する条例の一部改正／職員の旅費に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○		○	○	◆	◆	○	○	可決
	未来に輝く教育のまち条例	×	○	○	○	○	○	○		○	○	◆	◆	○	○	可決
	国民健康保険条例の一部改正	×	○	○	○	○	○	○		○	○	◆	◆	×	×	可決
その他	工事請負変更契約の締結	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	可決
	市道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○		○	○	◆	◆	○	○	可決
補正 予算	令和7年度 一般会計（第11号）／国民健康保険特別会計（第5号）／介護保険特別会計（第5号）／後期高齢者医療特別会計（第4号）／半田財産区特別会計（第2号）／今熊財産区特別会計（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	★	○	○	◆	◆	○	○	可決
	下水道事業会計（第2号）	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	可決
予 算	令和8年度 一般会計／国民健康保険特別会計／介護保険特別会計／後期高齢者医療特別会計	×	○	○	○	○	○	○		○	○	◆	◆	×	×	可決
	(池尻・半田・東野・今熊・岩室・茱萸木)財産区特別会計／下水道事業会計	○	○	○	○	○	○	○		○	○	◆	◆	○	○	可決
補正 予算	令和8年度 一般会計（第1号）	○	×	×	×	○	○	○		○	○	◆	◆	○	○	可決
	一般会計（第2・3号）／国民健康保険特別会計（第1号）／介護保険特別会計（第1号）	○	○	○	○	○	○	○		○	○	◆	◆	○	○	可決
請願	市議会への請願、陳情等の規定改善の請願	□	△	△	△	△	△	△		△	△	◆	◆	△	△	一部採択
陳情	議員定数削減についての陳情	×	○	○	○	×	×	×		×	×	×	◆	×	×	不採択
要望	狭山池周回道路「一部通行止め」開放についての要望	○	×	×	×	×	×	×		×	×	◆	◆	×	×	不採択
	近畿大学行き（急行バス）の時刻表改定についての要望	○	×	×	×	×	×	×		×	×	◆	◆	×	×	不採択
決議	イランをめぐる軍事行動の即時停止と平和的解決を求める決議	○	○	○	○	○	○	○		○	○	◆	◆	○	○	可決

◆表の見方 会派名及び議員名は、50音順。『○』は賛成または採択、『×』は反対または不採択、『△』は一部採択、『□』は原案に賛成のため一部採択には反対となること、『★』は議長につき採決には参加していないこと、『◆』は本会議を欠席または早退のため採決に参加していないことを示しています。